

Excel 関数の使い方 2024

2024年 4月27日 河出 修

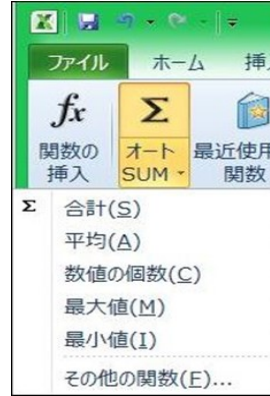
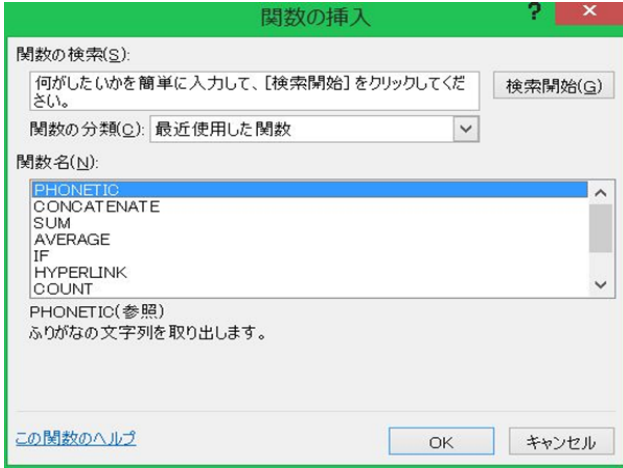
1. Microsoft Excel 関数の種類

★数値計算、文字列計算、検索／行列の関数、日付／時刻の関数等 多くの関数が用意されている。

2. 関数の呼び出し方

★「数式」タブを開き、「関数の挿入」ボタンを押す。

★「オートSUM」ボタンを押す。



●「オートSUM」の内容はステータスバーに表示される。(カーソルで指定した範囲)

3. 関数のほかに次のような演算子も用意されている。

算術演算子	意味	例
+	足し算	A1+B1
-	引き算	A1-B1
*	掛け算	A1*B1
/	割り算	A1/B1
^	べき乗	A1^2
	平方根	9^0.5
%	パーセント	20%

比較演算子	意味	例
=	等号	A1=B1
>	より大	A1>B1
<	より小	A1<B1
>=	以上	A1>=B1
<=	以下	A1<=B1
<>	不等号	A1<>B1
&	文字連結	A1&B1

4. 年齢の計算例 (DATEDIF 関数)

氏名	生年月日	基準日	年齢
Aさん	1941/7/20	2024/4/1	82
Bさん	1960/7/1	2024/4/1	63
Cさん	1970/5/5	2024/4/1	53
Dさん	1999/2/10	2024/4/1	25
Eさん	1985/8/10	2024/4/1	38

- 年齢計算には、「DATEDIF関数」を使う。
「DATEDIF(デイトディフ)関数」は次のように入力する。
=DATEDIF(生年月日,基準日,"y")
- 左の表では「基準日」欄を一括変更することができる。
「基準日」のAさん～Eさんを指定する。
「検索と選択」→「置換」→「検索する文字列」の入力
→「置換後の文字列」の入力→「すべて置換」をクリック。

5. 生年(西暦)の干支の計算例 (MOD、MID 関数)

氏名	生年月日	西暦年	余り	干支
Aさん	1941/7/20	1941	9	巳
Bさん	1960/7/1	1960	4	子
Cさん	1970/5/5	1970	2	戌
Dさん	1999/2/10	1999	7	卯
Eさん	1985/8/10	1985	5	丑

- 余りの計算には、「MOD関数」を使う。
「干支」は12年周期なので西暦年を12で割る。
=MOD(西暦年,12)
- 干支の計算には、「MID関数」を使う。
「干支」は「余り+1」が「申～未」の何番目かで求める。
=MID("申酉戌亥子丑寅卯辰巳午未",E50+1,1)

6. IF関数(入れ子の例)

社内模試結果一覧表

氏名	IT	英語	合計点	判定
Aさん	64	72	136	×
Bさん	81	64	145	×
Cさん	95	87	182	○
Dさん	78	81	159	△
Eさん	74	57	131	×
Fさん	79	75	154	△

- =IF(論理式、真の場合、偽の場合)
- 社内模試合計点から、○、△、×を判定する。
○は170点以上、△は150～169点、×は150点未満
=IF(合計点>=170,"○",IF(合計点>=150,"△","×"))
=IF(E79>=170,"○",IF(E79>=150,"△","×"))

7. IF関数(AND関数との組み合わせ)

社内模試結果一覧表

氏名	IT	英語	判定
Aさん	64	72	×
Bさん	81	64	×
Cさん	95	87	○
Dさん	78	81	○
Eさん	74	57	×
Fさん	79	75	○

●=AND(論理式1、論理式2、…)

全ての論理式が条件を満たすと「成立」、それ以外は「成立しない」と判定する。

●「ITが70点以上かつ英語が65点以上」なら○、それ以外は×
=IF(AND(IT>=70、英語>=65),"○","×")

=IF(AND(C89>=70,D89>=65),"○","×")

8. 「行/列の入れ替え」

項目	パン	ドーナツ	クッキー	ケーキ	パイ
金額	50	100	40	50	20

●「項目」「金額」の「表」をコピーする。

項目	金額
パン	50
ドーナツ	100
クッキー	40
ケーキ	50
パイ	20

●「貼り付けのオプション」から「行/列の入れ替え」を選択すると左表のように行と列が入れ替わる。



9. 別表から品名や単価を転記する例 (VLOOKUP 関数)

★商品注文表

品番	品名	単価	数量	金額
11	ダスター	200		
21	フォルダー	80		
31	A4用紙	200		
41	シール紙	100		

★商品マスター

品番	品名	単価
11	ダスター	200
21	フォルダー	80
31	A4用紙	200
41	シール紙	100

●「品番」をキーにして、商品マスターから「品名」を転記する。

商品注文表の「品名」欄に、=VLOOKUP(品番,商品マスターの範囲,列番号,FALSE) を設定。
=VLOOKUP(B54,\$H\$54:\$J\$57,2,FALSE) → C54の内容 (品名の下)

●「品番」をキーにして、商品マスターから「単価」を転記する。

商品注文表の「単価」欄に、=VLOOKUP(品番,商品マスターの範囲,列番号,FALSE) を設定。
=VLOOKUP(B54,\$H\$54:\$J\$57,3,FALSE) → D54の内容 (単価の下)

●マスターの範囲は絶対参照、列番号=転記する列番号、FALSE=完全一致。

10. 四則演算と関数の使用例

★販売高集計表

氏名	4月	5月	6月	合計	スパークライン	順位
Aさん	45	95	40	180		6
Bさん	80	75	80	235		1
Cさん	85	65	70	220		2
Dさん	60	70	80	210		4
Eさん	65	45	95	205		5
Fさん	75	75	65	215		3
平均	68	71	72	211		
			最高	235		
			最低	180		

●計算式

「合計」=「4月」+「5月」+「6月」

「平均」=「月」別の平均

「最高」=「合計」の最大値

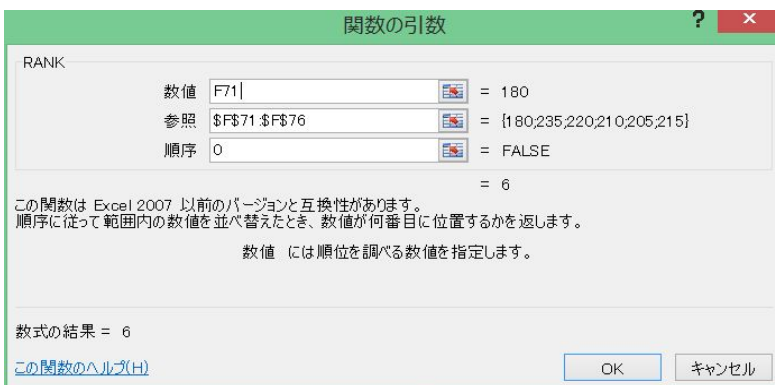
「最低」=「合計」の最小値

●条件付き書式

50未満は赤色表示

●スパークライン

月別販売高を折れ線グラフ表示



順位:「合計」を「RANK」関数で判定する。

Aさんの「RANK」関数

1. 数値

・Aさんの「合計」(F71)

2. 参照

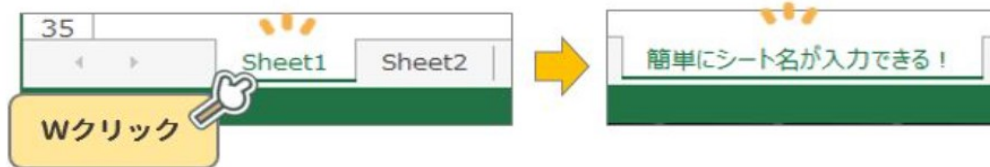
・AさんからFさんの「合計」(F71:F76)→「F4」キーを押して絶対参照に変更する。
(F71:F76)→「F4」キーを押して絶対参照に変更する。
(F71:F76)→「F4」キーを押して絶対参照に変更する。
(F71:F76)→「F4」キーを押して絶対参照に変更する。

3. 順序

0(降順)

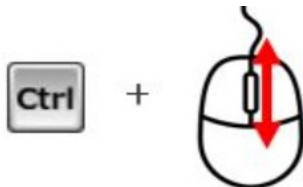
11. EXCELの豆知識

(1)シート名をWクリックすると、シート名の変更ができる。



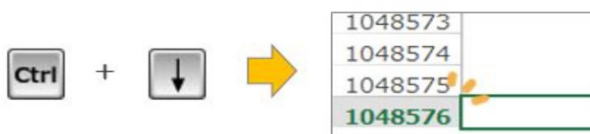
●わざわざ右クリック→「名前の変更」を選択しなくても、ダブルクリックだけでシート名が変更できます。

(2)「Ctrl」を押しながらマウスホイールを上下に動かすとExcel画面の倍率が変わる



- 「Ctrl」を押しながらマウスホイールを上を動かすと、倍率が大きくなっていきます。
- 「Ctrl」を押しながらマウスホイールを下を動かすと、倍率が小さくなっていきます。

(3)Excelシートの一番下の行は、1,048,576。



●「Ctrl」+「↓」で、一番下のセルまでジャンプします。

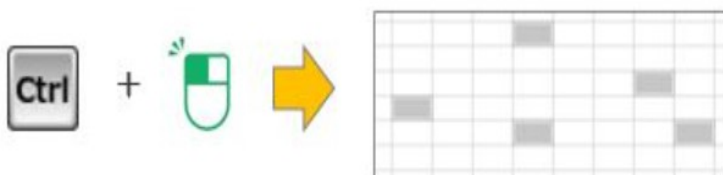
(4)Excelシートの一番右端は、XFD。



●「Ctrl」+「→」で、一番右のセルまでジャンプします。

●16,384番まで横に伸びています。

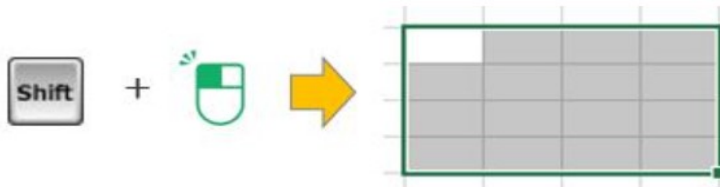
(5)「Ctrl」+左クリックで、複数のセルを選択することができる



●「Ctrl」を押しながら、いろんなセルを左クリックしてみましょう。

●左クリックした場所が灰色になれば、選択されている状態です。

(6)「Shift」+左クリックで、連続したセルの範囲を選択することができる



●「Shift」を押しながら、左クリックし、「Shift」を押したまま別の場所を左クリックすると、セルが連続して灰色になります。

●連続したセルの範囲を選択している状態

(7)オートフィルを使えば、旧暦(睦月→如月→弥生…)も分かる

睦月	如月	弥生	+	卯月	皀月	水無月	文月	葉月	長月	神無月	霜月	師走
----	----	----	---	----	----	-----	----	----	----	-----	----	----

セルの右下の「+」を右に移動すると次の値が自動的に入力される

(8)オートフィルを使えば、「甲」「乙」「丙」の次が分かる

甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(9)オートフィルを使えば、干支(子→丑→寅…)も分かる

子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(10)オートフィルを使えば、連続した項目の入力が簡単になる

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----